



2025年6月27日

株式会社 富創管工 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、
SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

代表取締役 津金 明彦

SDGsの達成に向けた取り組み

生活環境設備事業を通じて災害対策を推進し、住民の快適な暮らしを実現する

- 当社は設立以来40年以上にわたり、マンション、ビルなどの給排水設備や空調設備の設計、施工、リニューアル工事を行っており、地域の方々が安心、安全に暮らせる生活環境を提供しています。
- 多発する自然災害を受けて、今後は災害に強い施工方法や給排水設備に関するノウハウ習得に務め、また、施工管理等の資格保有者を増加させることで社員のスキルを高めていきます。
- その過程においては、地域からの工事の受注件数を増やしていくとともに、地元人材を積極的に採用し、当社の高い施工技術を承継し、技術者として育成していきます。
- 新人に対しては、現場教育を含めた研修の充実化を図っていくほか、指導者の教育レベル統一にも力を入れていきます。
- なお、災害時には、当社の設備等（太陽光パネル、電源プラグ、駐車場、会議室）を近隣の方々に開放いたします。

【指標】

地域からの工事の受注件数	2025年 30件/年	⇒	2030年 40件/年(+10件/年)
災害に強い施工等に関する勉強会の開催数	2025年 1回/年	⇒	2030年 3回/年(+2回/年)
国家資格(施工管理等)の資格保有者数	2025年 7名	⇒	2030年 15名(+8名)
地元人材の採用数		⇒	2030年 累計10名



生活環境設備事業の持続可能性を高めていく

- 当社事業の継続には、従業員の健康が第一であることから、従業員の健康を配慮した取り組み（定期健康診断結果を踏まえたフォローアップ、就業時間管理及び、休暇管理）を推進いたします。
- 様々な働き方改革を推進し、多様な従業員が活躍できる職場を目指していくことで、女性管理職を計画的に育成していくほか、定年を迎えた65歳以上の継続雇用者も増加させていきます。
- そのため、社内コミュニケーションの活発化（情報共有、ミーティング、他）を図っていくことで、労働時間の短縮や業務効率化を目指します。
- また、社内コミュニケーション活発化の一環として、社内レクリエーションを定期的で開催していきます。

【指標】

定期健康診断の再検査受診率	2025年 5%	⇒	2030年 25%(+20%)
女性管理者(主任以上)の数	2025年 なし	⇒	2030年 4名(+4名)
継続雇用した高齢者(65歳以上)の数	2025年 1名	⇒	2030年 4名(+3名)
社内レクリエーションの開催回数	2025年 1回/年	⇒	2030年 3回/年(+2回/年)



当社のステークホルダーとともに環境に配慮した取り組みを推進する

- 会社全体としてCO2排出量の削減（環境配慮型車両への入れ替え、省エネ運転、事務所の省エネ、他）に取り組んでいます。
- 施工業者の責任として、現場での産業廃棄物の分別管理を徹底していくほか、建設資材や備品の無駄を削減していきます。また、DX化を進め、更にペーパーレス化を図っていきます。

【指標】

環境配慮型車両への入れ替え促進	2025年 5台/17台	⇒	2030年 10台/17台(58%)
-----------------	--------------	---	--------------------

